

**製品名: PDP2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15930**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	59kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PDP2
別名	PDP2; KIAA1348; [Pyruvate dehydrogenase [acetyl-transferring]]-phosphatase 2, mitochondrial; PDP 2; Pyruvate dehydrogenase phosphatase catalytic subunit 2; PDPC 2
遺伝子 ID	57546.0
SwissProt ID	Q9P2J9
免疫原	PDP2 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 70-150

**背景**

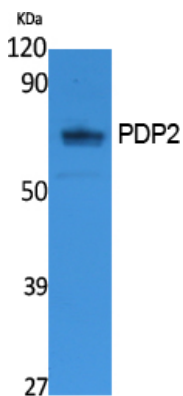
この遺伝子はミトコンドリアタンパク質であり、ホスファターゼとして機能し、ピルビン酸脱水素酵素複合体の酵素的リセットに関

与する。選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2016年8月],触媒活性: [ピルビン酸脱水素酵素 (アセチル基転移型) ]リン酸 + H(2)O = [ピルビン酸脱水素酵素 (アセチル基転移型) ] + リン酸。補因子: サブユニットあたり2個のマグネシウムイオンに結合する。機能: ピルビン酸脱水素酵素複合体の E1 成分の  $\alpha$  サブユニットの脱リン酸化とそれに伴う再活性化を触媒する。類似性: PP2C ファミリーに属する。サブユニット: 触媒サブユニットと機能不明の FAD タンパク質のヘテロ二量体。

## 研究分野

タグと細胞マーカー; 細胞内マーカー; 細胞小器官; ミトコンドリア; シグナル伝達; 代謝; エネルギー代謝; 経路とプロセス; ミトコンドリア代謝; ミトコンドリアマーカー; 代謝シグナル伝達経路; エネルギー伝達経路

## 画像データ



PDP2 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。